

釧路新聞

発行所
釧路新聞社
©釧路新聞社2010
郵便番号 085-8650
釧路市黒金町7の3
TEL 0154-22-1111(総務)

根室版

心に滲みる
銘酒 釧路の地酒

清酒 福司
フクツカサ

福司酒造株式会社
釧路市住吉2の13の23
841-3100

主な紙面



マチ歩きを満喫15
健康くしろサポータークラブは17日、釧路フィッシャーマンズワーフMOOを発着するウォーキング講座を開

サケ節の商品化に成功

水産加工メーカーにんべんと共同で

羅臼の「のりとも朝倉商店」

羅臼町麻布町の「のりとも朝倉商店」(朝倉奉文社長)は、大手水産加工メーカー「にんべん」と共同でサケ節の商品化に成功した。このサケ節は、通常流通しない川に遡上する脂の抜けたブナサケを活用したものだ。手始めに「知床開き」(19、20日・羅臼町)で、削り節を試験的販売する。すでに、にんべんは市場調査を始めており、早ければ今年秋から全国の量販店店頭にて、羅臼産サケ節が登場する予定だ。

(前田大介)

知床開きで試験的販売

同商店は、ホッケの干物などを製造する水産加工業で、2007年ごろから羅臼で年間約2000トとされる利用されないブナサケの有効活用方法を模索していた。

そのころ、羅臼沖でソウダガツオの水揚げがあったが、ほとんどが廃棄処分となっていた。同商店に入りする機械メーカーに、ガツオを処分している現状を伝えると、「最近

プロスホーツ観戦も

提言書など町へ新体育館建設で

築41年が経過した中標津体育館の建て替え計画の早期策定を求めて、スポーツ関係者でつくる新中標津体育館構想検討会(増地隆代表)が17日、小林実中標津町長、萬和男町



小林町長に

協力を求めた道立総合研究機構食品加工研究センター

(江別市)には、過去に十勝川のブナサケでサケ節を作ったデータがあり、それを参考にサケ節を試作した。

朝倉社長は「サケ節を10年、200年と後世まで続く商品にしたい」と、ガツオ節製造で実績のある大手水産加工メーカー3社に試作品を送った。すると3社とも好感触、中でも300年以上の歴史を誇るにんべんと技術協力する

「節作りに欠かせないいぶながら乾燥する装置(急造備は、当時、ガツオ節専用の

こと08年に留意した。それからは、道経済産業や農林水産省などから補助金を得、総額8000万円を費やして、新設や設備の整備などを行った。また、にんべんの技術指導も受け、製法の確立のマニュアル作りにも注いだ。